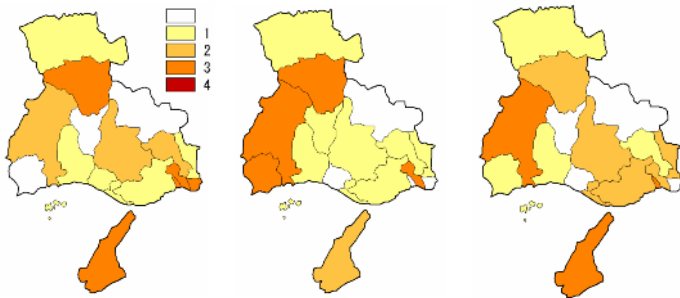


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

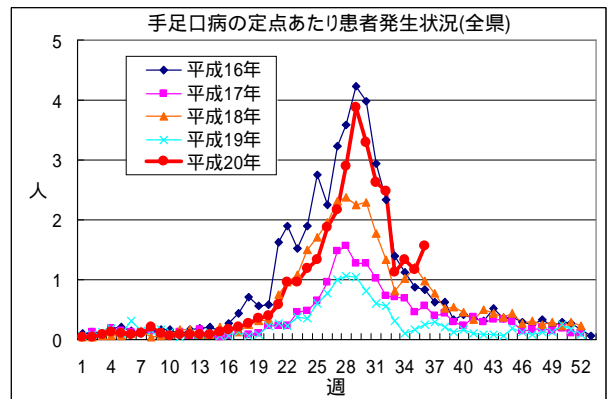
定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

手足口病

今週報告数が増加しました。
夏季に流行する感染症ですが、秋から冬にかけても多少の発生がみられるため、もうしばらく注意が必要です。



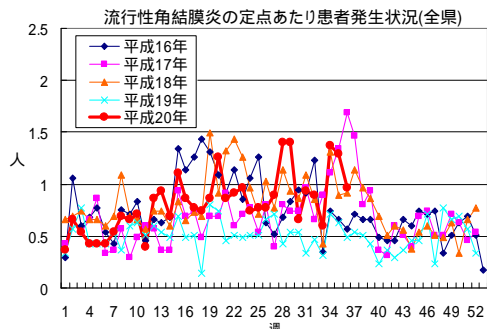
34 週 (8/18 ~ 8/24) 35 週 (8/25 ~ 8/31) 36 週 (9/1 ~ 9/7)



その他の感染症の概況

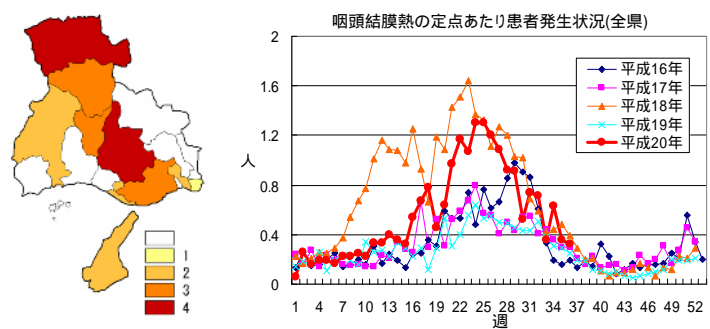
流行性角結膜炎

今週、報告患者数は減少しました。夏に多い感染症ですが、増減を繰り返しており、もうしばらく注意が必要です。



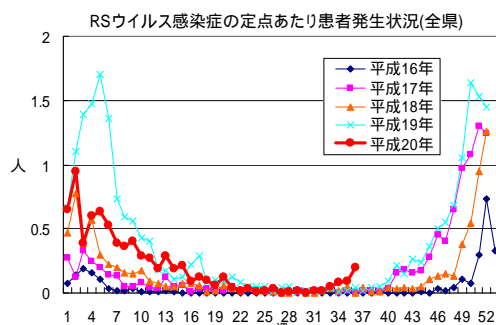
咽頭結膜熱

報告数は減少しましたが、社、豊岡保健所管内など地域的に例年よりも報告数が多くなっています。



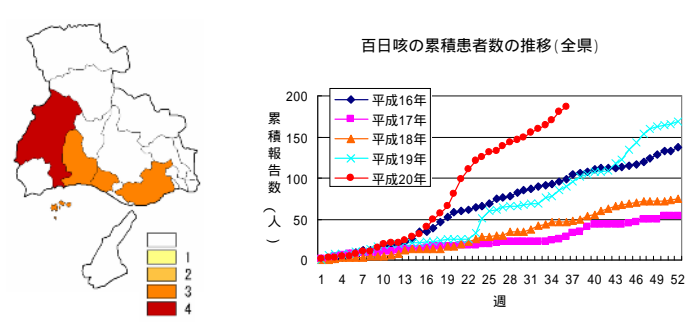
RSウイルス感染症

今週も報告患者数は増加しました。例年よりも早い流行の立ち上がりになるかもしれません。今後の動向に注意が必要です。



百日咳

今週の報告患者数は 6 人 (先週 11 人) でした。今年の第 36 週までの累積報告数は 187 人と例年と比較し多い状況です。龍野保健所管内で例年よりも報告数が多くなっています。



定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	3.12	3.25	- 0.13	6位	水痘	0.46	0.47	- 0.01
2位	手足口病	1.57	1.16	+ 0.41	7位	流行性耳下腺炎	0.45	0.37	+ 0.08
3位	流行性角結膜炎	0.97	1.29	- 0.32	8位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.44	0.37	+ 0.07
4位	突発性発しん	0.74	0.92	- 0.18	9位	咽頭結膜熱	0.32	0.36	- 0.04
5位	ヘルパンギーナ	0.64	0.78	- 0.14	10位	RSウイルス感染症	0.20	0.09	+ 0.11

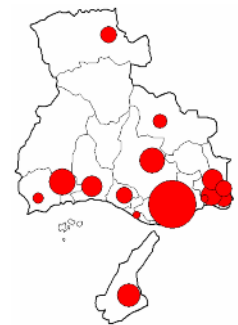
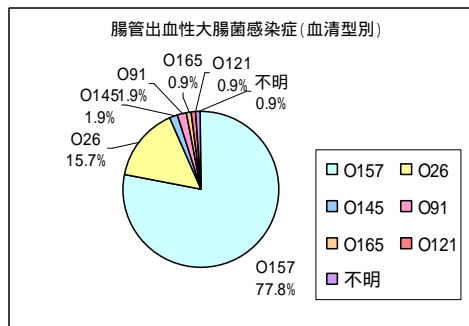
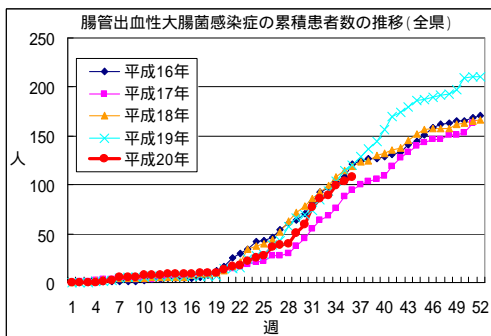
全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 30名 （神戸市12名、尼崎市4名、姫路市4名、西宮市2名、芦屋保健所管内1名、宝塚保健所管内3名、明石保健所管内1名、加古川保健所管内2名、龍野保健所管内1名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 4名 （神戸市1名；血清抗体検出/HUS、姫路市1名；O157 VT2+、宝塚保健所管内1名；O157 VT1+VT2+、洲本保健所管内1名；O26 VT1+）
4類感染症	レジオネラ症 1名 （明石保健所管内；肺炎型）
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名 （豊岡保健所管内；A群） ジアルジア症 1名 （神戸市；海外渡航者）
追加報告	結核 2名 （尼崎市2名；第34週,第35週） 後天性免疫不全症候群 1名 （第35週/AIDS）

腸管出血性大腸菌感染症

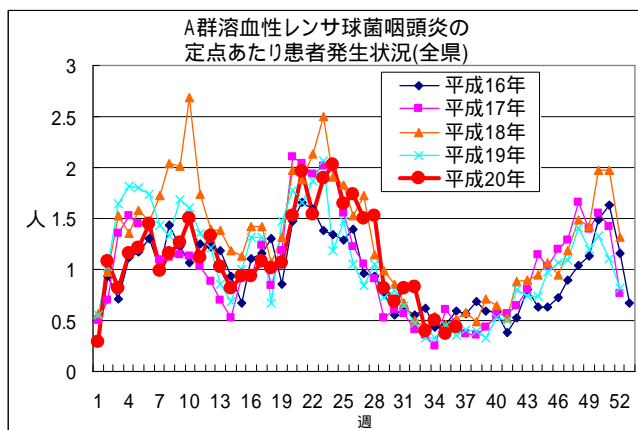
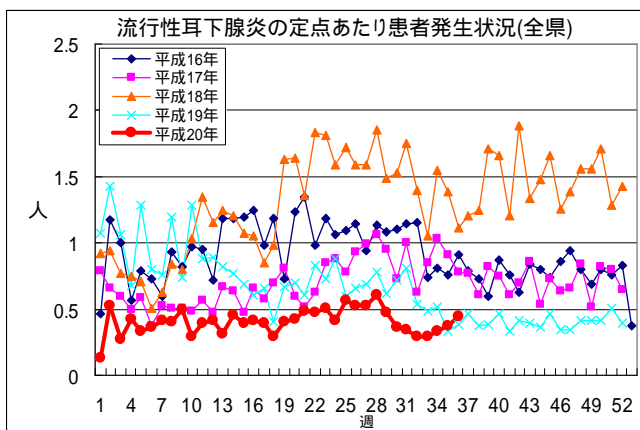
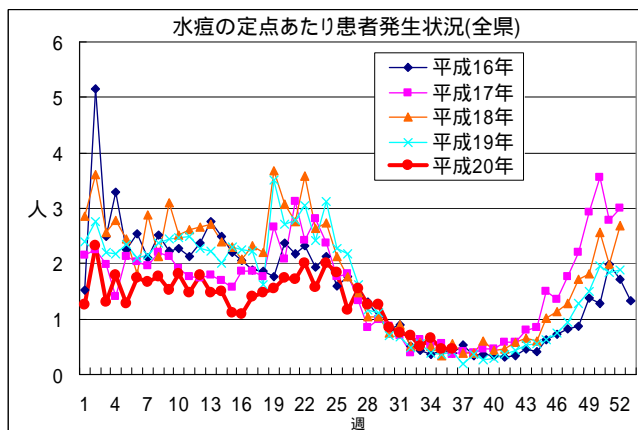
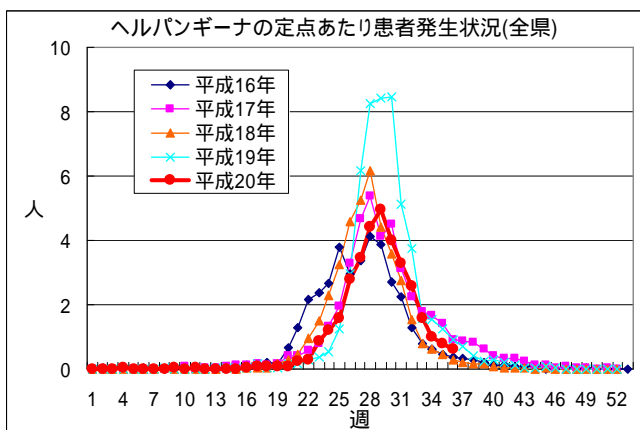
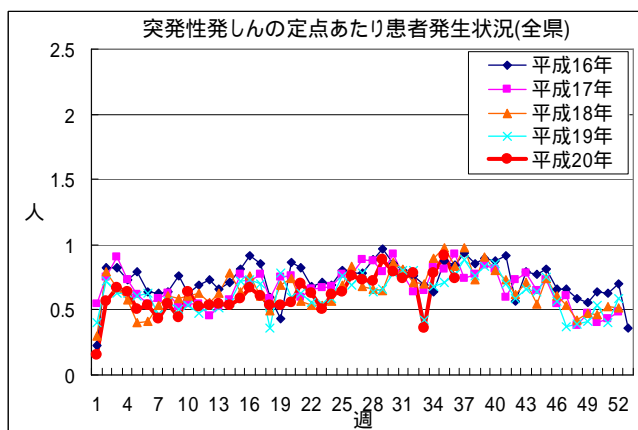
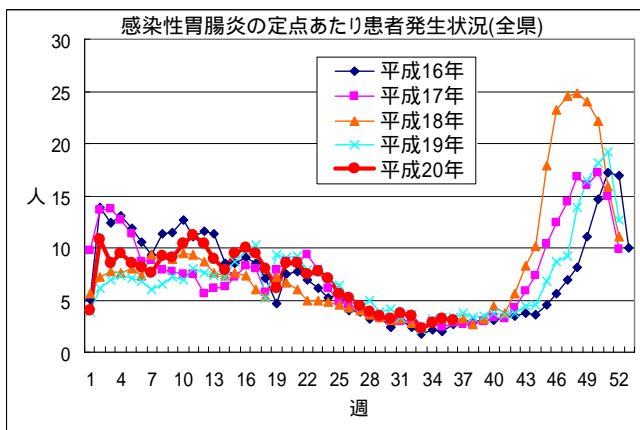
今週、4名の腸管出血性大腸菌感染症の報告があり、第36週現在の累積報告数は108名となっています。今週報告のあった者のうち1名は溶血性尿毒症症候群（HUS）を発症しており、血清抗体の検出によって届け出られました。小児、高齢者等は重症化しやすく、肉・レバーなどの生食はしない、生肉に使用した箸やまな板は使い分けるなど、感染予防が大切です。

血清型別に見ると、現在のところO157が約78%、O26が約16%を占めています。



1～36週の累積患者数による

目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。